授業科目	＊地域福祉と包括的支援体制Ⅰ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	梶原　浩介						
授業概要	地域福祉は、児童福祉や高齢者福祉などの対象者別の福祉分野に並置されるものではなく、社会福祉そのものの新しい形態や方法を意味している。本科目を通して、新しい福祉のあり方として地域福祉を捉える視点を学ぶとともに、地域福祉の主体や地域福祉の推進のための制度・仕組みについて理解を深める。 本科目は、前期・後期に分けて講義を実施する。前期では、地域福祉の基礎概念や、民生委員、社会福祉協議会、共同募金等の地域福祉を推進する主体について学ぶ。後期では、前期の学びを踏まえ、地域福祉を推進するためのソーシャルワークを中心に学ぶ。 従来から、社会福祉協議会等の基本的な実践技術であるコミュニティワークに加え、近年、社会的つながりの弱い人々や制度の狭間、複合課題等への対応として重視されるようになったコミュニティソーシャルワーク(地域を基盤としたソーシャルワーク)についても学びを深める。						
授業形態	講義・演習			授業方法	基本、講義形式の授業を実施します。一部、テーマに基づいてグループワーク、Google フォーム 等の ICT を活用した自主学習を取り入れます。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．　地域福祉の基本的な考え方、地域福祉の主体と対象を理解する。 2．　地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。 3．　住民参加の意義と方法について理解する。 4．　ネットワーキングの意義と方法及びその実際、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法と実際について理解する。 5．　福祉サービスの評価方法について理解する。 6．　コミュニティワークの意義や方法等について理解する。 7．　コミュニティソーシャルワークについての知識や技術等について理解する。 8．　地域福祉の課題とこれからの地域福祉のあり方について理解する。
理想的レベル	1．　地域福祉の諸課題についてを認識でき説明することができる。 2．　ネットワーキングをする際に必要となる機関、団体、人について説明することができる。 3．　地域福祉の諸課題について多角的に捉えることができ問題点を指摘することができる。 4．　地域福祉に関する学説、理論、政策などについての説明ができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	
小テスト		
レポート	20%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	10%	課題に対する話し合いも含みます。
レポート外の提出物		
その他	10%	授業中の発言・質問、参加姿勢等

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21211J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
・授業で示された文献などを読み、興味や関心、疑問点、授業外で調べたこと等をノートにまとめる。	4

授業計画	
第１回	オリエンテーション
第２回	地域社会の現状と地域福祉
第３回	民生委員・児童委員の役割と実際
第４回	社会福祉協議会の役割と実際（１） －　社会福祉協議会とは　－
第５回	社会福祉協議会の役割と実際（２） －　地域福祉推進部門の事業・活動１　－
第６回	社会福祉協議会の役割と実際（３） －　地域福祉推進部門の事業・活動２　－
第７回	社会福祉協議会の役割と実際（４） －　福祉サービス利用支援部門の事業・活動　－
第８回	社会福祉協議会の役割と実際（５） －　社協の「これまで」と「これから」　－
第９回	地域福祉の財源 －　共同募金の役割と実際　－
第10回	コミュニティワーク（１） －　地域福祉の理論的展開とコミュニティワーク　－
第11回	コミュニティワーク（２） －　コミュニティワークのプロセスと方法　－
第12回	コミュニティワーク（３） －　コミュニティワークの実践事例１　－
第13回	コミュニティワーク（４） －　コミュニティワークの実践事例２　－
第14回	・コミュニティワーク（５） －　コミュニティワークの実践事例３　－
第15回	・地域福祉の課題とこれからの地域福祉のあり方 ・授業のまとめを行う。
テキスト	川村　匡由　編著『入門地域福祉と包括的支援体制』ミネルヴァ書房出版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考文献、資料等は講義の際に適宜、情報提供する。

課題に対するフィードバックの方法	・授業中、テーマに基づいてグループワークで検討した内容に基づき、授業資料等を用いて振り返りをします。また、Google フォーム 等の ICT を活用した自主学習に対しては、回答例を提示します。
学生へのメッセージ・コメント	・より理解を深めていくために、事前にテキストの一読やレジュメ資料による振り返り、授業中に紹介する参考図書等を一読してください。 地域福祉領域(地域の問題、行政計画等)の情報に興味関心をもってアクセスし、理解を深めてください。